



人と環境にやさしいトランジットモデル都市をめざして RACDA

第 186 号

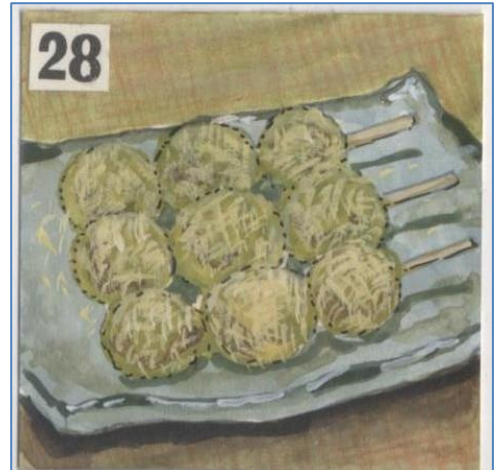
2019 / 1

「内田栄造(百閒)十五の春の初夢～Dreams come true～」

■私は備前岡山古京町の志保屋と云う造り酒屋の一人息子である。一人っ子であった事もあり、我儘一ぱいに育てられた。後で思い出すと、いけなかった、済まなかったと思う事がいくつかある。それは婆やに連れられ氏神様である、東山の玉井宮に行った時の事である。「あの石段を登るのはイヤダ」と駄々をこねる私に、「石段を登ったら串団子を買ってやるから」と婆やに云われ、玉井宮の石段を登ったのだが、玉井宮への参道にベビーカステラの屋台はあれど串団子の店は無いのである。婆やが「カステラを買ってやる」と云うたが、私は「カステラはイヤダ、カステラはイヤダ」とむずかり出すだけでは抑まらず、地面にひっくり返って地団駄を踏み始めた。よほど暴れ回ったのであろう。私は玉井宮から、石段を真っ逆さまに転がり落ちていったのである。意識が戻り周りを見渡すと、どうやら私は東山公園の噴水の辺りまで転がり落ちたようだ。

■轟轟と私の好きな音が耳に入ってきたので、見開くように目をそちらにむけると、真っ赤な顔をした愛嬌ある顔つきの電車がこちらに向かってきた。英国生まれのCGアニメ「チャギントン」を模した「チャギントン電車」だと婆やが教えてくれた。

世界約 175 カ国で放映され世界中の子供達に大人気の乗り物キャラクターらしい。舶来のキャラク



NPO 法人公共の交通ラクダ(RACDA)

事務局 〒700-0823 岡山市北区丸の内 1-1-15 禁酒会館 3F TEL&FAX 086-232-5502

E-mail:info@racda-okayama.org

URL:http://www.racda-okayama.org

RACDA

検索

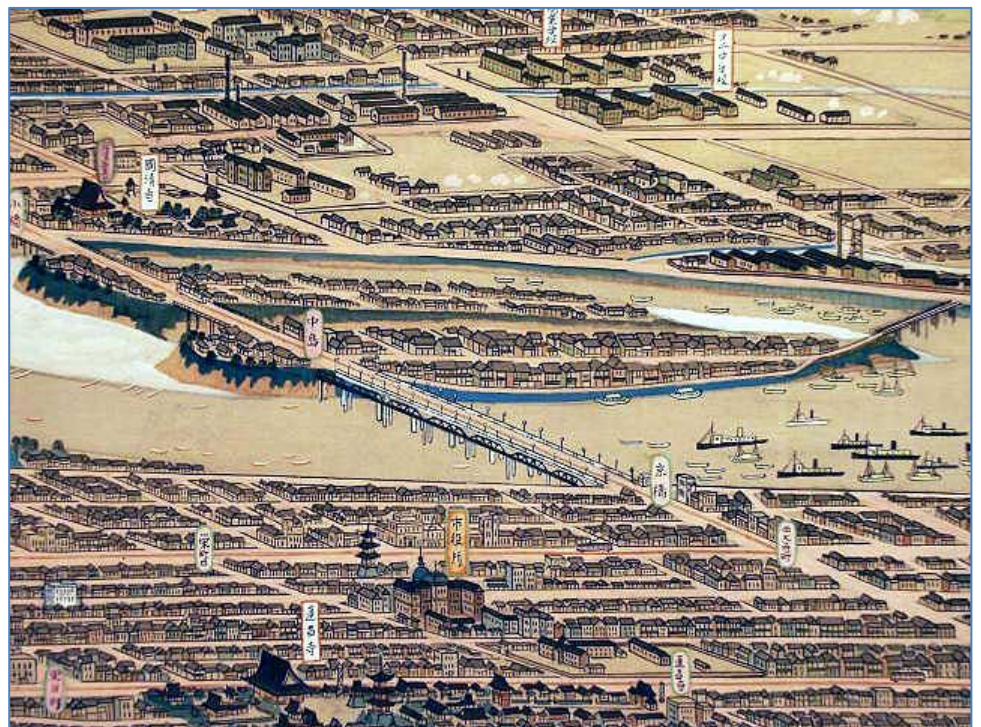


ターを模しており、斬新かつ新鮮なデザインとカラーの外観だけでなく、乗車してみて内装にも驚愕した。側壁や床にある液晶モニターにはアニメも流れ、チャギントンワールドが更に広がる。カラフルな座席には高い座面が用意され、小さな子供達にも車窓が楽しめるよう配慮されている。「ナビゲーター」と呼ばれる女性が乗車し、接客対応にあたってくれる。これまで私は汽車に乗るには、一等が1番好きであったが、このチャギントン電車に乗ってしまったら、一等でも満足する事は出来なくなるだろう。なんとも罪な可愛らしい電車であろう。

■婆やが京橋へ行くと言うので、私も行きたいと云うとよいと云われたのでついて行った。久しぶりに京橋河畔で奈良茶でも楽しめるかと、高揚する気持ちを抑えながら向かって行った。すると京橋に到着すると婆やは掛け茶屋には目もくれず、停泊している船に乗り込んだ。まあ奈良茶は帰りでもいいかと、乗り物が好きな私はどこに着くのであろうという期待の中、船は京橋を出港した。川風に吹かれながら桜橋、旭川大橋とくぐり、滑らかに旭川を下って行く。川面の船から見る岡山市街の風景も乙なものである。岡南大橋を過ぎた辺りから、潮の香りが濃くなってきた。いよいよ河口へ。児島湾大橋をくぐると瀬戸内海である。船は速度を上げ波と潮風を受けながら進み、何本もの煙突が突き立つ犬島に着岸した。瀬戸内国際芸術祭でも人気のある犬島だが、この島へ京橋港の復活により市内中心部から直接アクセスされている利便性に感激した。私は犬島で下船したが、この船は牛窓まで行くらしい。



■そんな夢を2つ見て私は目が覚めた。十五の春。1905年の初夢である。その年は私事ながら激動の1年となる。それはさておき、思春期の頃に見た私の2つの初夢が正夢となる。人懐っこいや愛想がいいなど云われる事の無かった私であったが、岡山を愛する私にとってこれほど感慨深く満悦な事はない。今では操山山麓の安住院で喜色満願に溢れている。2019年。笑っていこう。



運行予定スケジュール

チャギントン電車：2019年03月16日（土）運行開始（土・日・祝日運行）

京橋～犬島～牛窓航路：2019年04月運行開始予定（瀬戸内国際芸術祭開催期間中運行）

安藤 亮